

財政確立、ともに前進

の耐震化、安心安全のまちづくり

狛江市の借金残高

ピーク時から

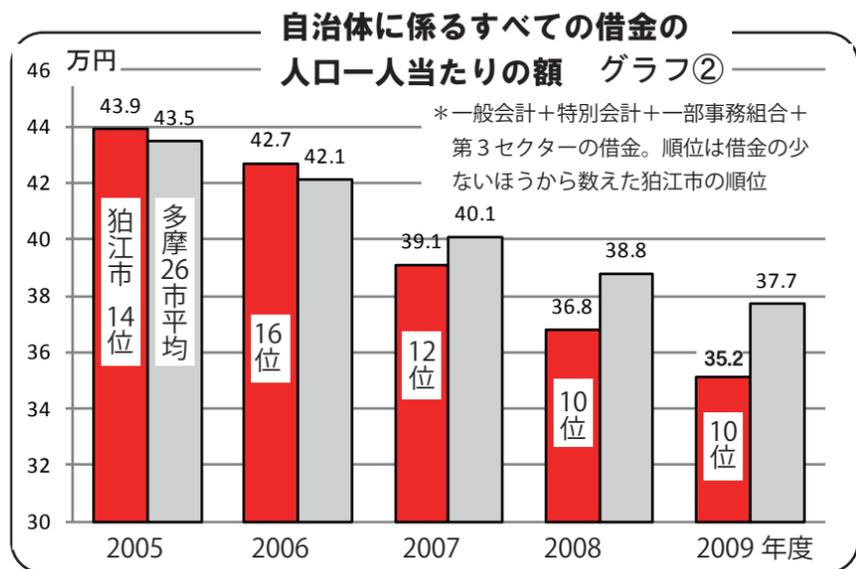
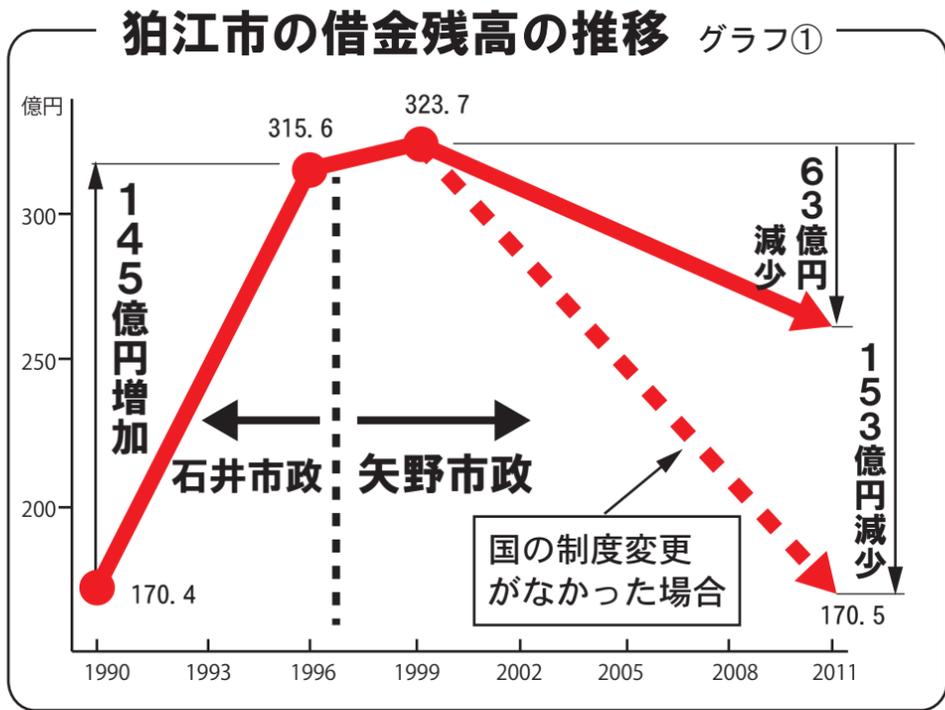
63億円減少

善しています(グラフ②)。
毎年の返済額も減少へ

高橋市長は選挙中、「狛江市は第二の夕張になりかねない」と述べました。しかしこれは事実とまったく違います。日本共産党市議団は9月の第三回定例会や10月の決算特別委員会で、そのことを明らかにしました。狛江市では16年前の石井市政時代、その末期6年間で借金残高(全会計)が、145億円も急増してしま

いました(グラフ①)。矢野市政になってこの借金返済にねばり強くとりくみ、2011年度までの15年間で合計383億円余を返済しました。うち281億円(73.3%)が、石井市政時代までの借り入れ分の返済です(グラフ③)。

その結果2011年度の借金



一般会計の借金残高は狛江市は多摩26市の中でまだ下位ですが、特別会計や一部事務組合、第3セクターなど、市にかかわるすべての借金を合計して比較す

市の借金は少ないほうから10位

市にかかわるすべての借金で比較すると、狛江市は多摩26市の中で、少ないほうから数えて10位まで改善されています(グラフ①)。

これまでの財政運営を堅持すれば

狛江市は夕張にならない

夕張市と狛江市の借金残高を比較すると夕張市は狛江市の12.6倍にもなります(グラフ④)。「狛江が夕張になる」という高橋市長の発言は実態を無視したものです。毎年の事業債を10億円以内に抑える財政運営を堅持すれば、狛江市は第二の夕張になりません。

